

大雪山国立公園パークボランティア連絡会の活動について

黒田 忠（大雪山国立公園パークボランティア連絡会 会長）

国立公園パークボランティアの制度は、1985年に環境省の自然保護教育活動推進事業によるパークボランティア養成が4地区で行われたのが始まりです。

国立公園において、自然解説活動や美化清掃、利用施設の簡単な維持修理などの各種活動について、広く国民の参加を求め、一層の活動の充実を図るとともに、自然保護の普及啓発を図ることを目的として設置されました。

全国に32国立公園があり、25国立公園の40地区において、各地区の特性に応じた活動実施計画に基づいて様々な活動を実施しています。全国の登録者数は1569名が登録（2012年7月20日現在）されています。

パークボランティアの募集は各地区の地方環境事務所が行い、募集時に開催する研修を受けること等が登録要件となっています。なお、パークボランティアの募集は、常時行われているものではなく、増員が必要な場合や、新たな地区でパークボランティアの活動を開始する場合等に行っています。

大雪山国立公園は、陸域で最大の面積を有する山岳公園として、1934年12月4日指定されました。当会は1989年（平成元年）4月に「大雪山国立公園層雲峡・旭岳地区ボランティアレンジャー連絡会」として発足。1992年（平成4年）に「大雪山国立公園東大雪・十勝岳地区ボランティアレンジャー連絡会」も発足し、翌1993年（平成5年）両会を併合し「大雪山国立公園パークボランティア連絡会」と改称。大雪山国立公園全域をカバーするパークボランティア組織として現在に至っています。

当会の本年度の会員数は96名で、旭川、札幌、帯広、網走等道内各地の会員が登録しています。例年5月に総会を実施し、活動年間計画を決定し、年間活動計画に基づき活動しています。

本年度の活動内容は、連絡会行事として

・前期登山道整備

上ホロ・十勝岳登山道整備6月13日（参加者15名）

登山道のロープ張り、

上ホロ避難小屋の清掃、ゴミの回収、廃棄ロープ、廃鉄抗の回収、ペイント作業など

6月21日旭岳・間宮岳・中岳登山道整備（参加者13名）

登山道のロープ張り、山頂標識等のペイント作業、ゴミの回収等。

・高山蝶保護パトロール（6月28日）

赤岳（銀泉台～駒草平～赤岳）コース（参加者10名）

緑岳（高原温泉～緑岳）コース（参加者9名）

富良野岳（十勝岳温泉～富良野岳）コース（参加者6名）

美瑛富士（美瑛富士登山口～美瑛富士）コース（参加者4名）

大雪山に生息するウスバキチョウ等の貴重な高山蝶の羽化に合わせて、高山蝶の保護と生息環境の保全についてパトロールを実施、一般登山者等に理解と協力を求めるための活動。

・前期トムラウシ山周辺登山道整備

7月3日～5日（2泊3日）（参加者7名）

沼の原登山口～五色岳～ヒサゴ沼～トムラウシ山

ハイマツの枝払い、ササ刈り、ロープ張り、標識のペイント、岩場のマーキング

ヒサゴ避難小屋の清掃、トイレの清掃、ゴミ拾い

・自然公園クリーンデー

7月12日 糠平温泉郷（参加者18名）

8月 2日 層雲峡温泉（参加者13名）

旭岳温泉（参加者12名）

天人峡温泉（参加者 7名）

白金温泉（参加者12名）

自然公園クリーンデーに合わせて、各温泉街等において清掃活動を実施している。

・旭岳裾合平周辺登山道整備

7月26日（参加者16名）

姿見駅～裾合平

ロープ張り、ササ刈り、案内標識のペイント作業

・★美瑛富士携帯トイレブース点検パトロール

8月29日（参加者4名）

美瑛富士簡易トイレブース点検清掃、周辺ゴミ拾い、避難小屋清掃、残置ゴミ回収

「美瑛富士トイレ管理連絡会」に加盟。点検パトロールを実施。

・登山道整備・忠別岳避難小屋周辺（後期）

9月5日～6日 1泊2日（参加者6名）

クチャンベツ～沼の原～五色岳～忠別岳避難小屋

トイレ掃除の道具持参、トイレ清掃、避難小屋清掃、周辺ゴミ拾い、たき火跡の撤収、廃材の片付け、毛布、タオル、ボンベ、ペットボトル等の回収、避難小屋分岐のペイント塗り。

・登山道整備・カミホロカメットク山及び十勝岳（後期）

9月26日（参加者6名）

十勝岳温泉～上ホロ～上ホロ避難小屋～十勝岳

ロープ緩め、廃ロープの回収、廃鉄ピン回収、避難小屋の清掃、トイレの清掃、ゴミ、ペットボトル、ガスボンベ回収。

を実施しました。

◆ 自然保護官事務所行事等

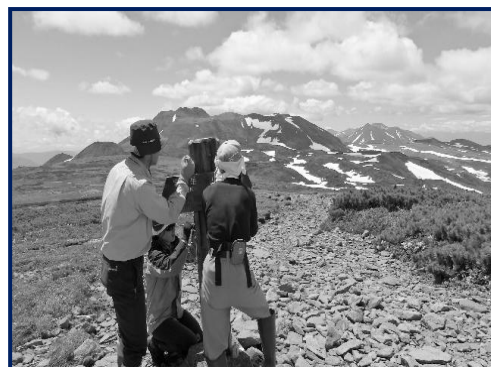
◇ 上川自然保護官事務所関係

・外来種（ルピナス）防除活動～層雲峡

6月17日（参加者12名）

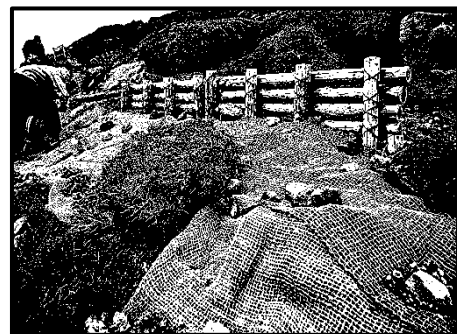
・★登山道保全技術講習会（朝陽山登山道）

6月23日（参加者22名）



（化雲ペイント作業トムラウシ山遠望）

- ・週間高山蝶パトロール（赤岳）
6月29日（参加者8名）
- ・★雲の平地区登山道整備補修作業
7月27日～28日（参加者23名）
59基の階段土留め、9基の土嚢階段、9基の植生保護土留めの設置
水流による登山道浸食と拡幅防止、周辺の高山植物帯の保護を目的とした登山道補修
- ・愛山溪登山道整備
7月30日（参加者4名）
沼の平半月湖周辺ロープ柵、滝の上分岐～永山登山口笹刈り。
- ・★高原温泉沼めぐりコース補修木材の荷揚げ及びヒグマ生態観察
8月1日（参加者21名）
180cm角材39本、90cm丸太25本搬送
- ・銀泉台地区外来植物駆除
8月21日（参加者4名）
アラゲハンゴンソウ70キロ駆除
8月26日（参加者6名）
フランスギクの抜き取り
- ・★北海岳クジャク岩登山道補修作業
8月29日～30日（参加者延べ27名）
浸食の進行を弱め、登山道の保全を図るための登山道補修
- ・紅葉期のマイカー規制
銀泉台：9月12日～9月23日（参加者27名）
高原温泉：9月19日～9月27日（参加者37名）
コース案内、ゴミ拾い、山座固定、コースタイムやバス時間案内等の活動
- ◇ 東川自然保護官事務所関係
 - ・セイヨウオオマルハナバチ防除活動 ～姿見園地周辺等
8月13日（参加者3名）
8月20日（参加者7名）
 - ・★美瑛地区登山道維持業務支援活動～美瑛岳
8月23日（参加者7名、関係者約40名参加）
登山道補修資材の運搬、設置
 - ・中岳分岐・裾合平登山道整備補修施工
8月27日（参加者8名）
9月15日（参加者10名）
センサー工と植生保護ネットの設置
- ◇ 上士幌自然保護官事務所関係
 - ・セイヨウオオマルハナバチ防除活動
5月18日（参加者8名、その他関係者20名）
 - ・★然別休養林登山道整備



（植生保護ネットの設置）

5月26日（参加者6名、関係者20名）

然別湖畔天望山、東雲湖倒木処理、笹刈り

- ・十勝三股セイヨウオオマルハナバチ防除活動及び植生復元活動

6月19日（参加者9名）

セイヨウオオマルハナバチ防除活動と旧十勝三股小中学校跡地の植生復元活動

- ・ウチダザリガニ集中防除活動

7月15日～18日、7月29日～30日（参加者13名）

然別湖園地及び北岸野営場周辺において防除

- ・★ユニ石狩岳登山道維持管理活動

7月7日（参加者PV1名、その他17名）

笹刈り、倒木処理

- ・十勝三股植生復元活動

10月16日～17日（参加者PV10名、その他9名）

旧十勝三股小中学校跡地の植生復元活動・植樹

- ・ウチダザリガニ集中防除活動

10月19日～23日（参加者24名、鹿追役場関係者）

然別湖園地及び北岸野営場周辺において防除

2月には冬季研修会、スノーモービルパトロールを実施している。

行事名の前の星★印は、協働型の取り組みを表しています。

私たちは、大雪山を舞台に様々な課題に対応するための取り組みをしていますが、時代と共にそのニーズも変化してきています。現場のニーズを的確に捉え、現場に即した活動メニューを企画実行していくことが求められているのです。ボランティア活動は、社会貢献活動によって自己実現を目指す活動ですが、ニーズに応えることで評価されるのです。

近年、登山道に関わる団体等の高齢化や、人材、予算、資材の不足が課題となっていますが、それらを補うために登山道や登山施設の整備や維持管理を、団体同士で協力し合ったり、ボランティアの力を借りたり、互いに情報を交換したり、共有しながら課題の解決に取り組む協働型の取り組みが行われています。今後も大雪山の貴重な自然環境を次世代に引き継ぐために関係団体が協力し合って課題の克服のために活動していきたいと思っております。

その他

- ◇ 会報「大雪山」No.95～97の発行 ～活動内容掲載 会員、関係機関等に配布
- ◇ 8月1日 旭川文学資料館 「三好文夫・小野寺与吉・愛山溪山の村展」で大雪山の自然を紹介する講演を開催
- ◇ 12月13日 旭川サイパル・「ジオフェスティバル in Asahikawa」で大雪山の周氷河地形、動植物を紹介する展示に参加